

再評価結果（平成22年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道49号 <small>いなわしろかくふく</small> 猪苗代拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：福島県耶麻郡猪苗代町大字壺楊字南浜 <small>やまぐんいなわしろまちおおあざつぼようあざみなみはま</small> 至：福島県耶麻郡猪苗代町大字長田字大堰 <small>やまぐんいなわしろまちおおあざおさだあざおおせき</small>				延長	7.3 km
事業概要	<p>国道49号は、福島県いわき市と新潟県新潟市を結び、南東北地域の広域交流の促進及び沿線市町村の連携強化を図る幹線道路である。</p> <p>猪苗代拡幅は、猪苗代町内の休日観光における交通渋滞の緩和や、冬期における走行水準の向上、沿道環境の改善等を目的とした事業である。</p> <p>当道路の整備により、渋滞ポイント（志田浜交差点）<small>しだはま</small>の渋滞解消による観光周遊の円滑化や、冬期走行環境の改善、道路交通の安全確保等に寄与するものである。</p>					
S63年度事業化	—		H元年度用地着手	H3年度工事着手		
全体事業費	129億円	事業進捗率	84%	供用済延長	2.9 km	
計画交通量	9,300台/日					
費用対効果分析結果	B/C	総費用：(残事業)/(事業全体) 26億円/177億円 事業費：17億円/161億円 維持管理費：9.2億円/15億円	総便益：(残事業)/(事業全体) 64億円/201億円 走行時間短縮便益：37億円/171億円 走行経費減少便益：19億円/22億円 交通事故減少便益：6.8億円/8.1億円	基準年	平成21年	
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施					
【残事業】	交通量変動	B/C=2.8(交通量 +10%)	B/C=1.9(交通量 -10%)			
	事業費変動	B/C=2.3(事業費 +10%)	B/C=2.6(事業費 -10%)			
	事業期間変動	B/C=2.3(事業期間 +20%)	B/C=2.5(事業期間 -20%)			
事業の効果等	<p>①冬期交通環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬期の堆雪による大型車同士のすれ違い困難箇所の解消、並行する常磐道通行止め時の交通混雑の解消等、冬期交通環境の改善が期待される。 <p>②交通事故の軽減による安全の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に観光期に多い交通事故の軽減が期待される。 					
関係する地方公共団体等の意見	県知事の意見：事業計画の見直しを踏まえた再評価(案)については、異議ありません。なお、事業の実施時に更なるコスト縮減に努めてください。					
事業評価監視委員会の意見	対応方針（原案）どおり「4車線整備から2車線整備に事業計画を見直したうえで事業継続」が妥当である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>【執行済み額】 事業費：108億円（進捗率84%） うち用地費：32億円（進捗率86%） 平成8年に、堅田交差点(国道115号交差)前後区間1.1kmが4車線拡幅で供用している。 また、平成17年11月には、猪苗代町大字金田から同町大字小松のバイパス部1.8km区間を2車線で供用している。</p>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	事業進捗に係る問題はない。残区間について早期の完成を目指す。					
施設の構造や工法の変更等	一部盛土材を購入土から他公共事業との調整により残土を受け入れることや再生資材（砕石やアスファルト合材等）の活用によるコスト縮減を図っている。					

